

『建築史』総目次

伏見 唯（ふしみ ゆい）

建築史研究会編『建築史（けんちくし）』吉川弘文館（復刻版：ロゴス出版 1970.9）
1939 年（第 1 巻第 1 号） - 1944 年（第 6 巻第 2 号）

凡例

- ・ 本目録は 1939 年から 1944 年まで刊行された雑誌『建築史』（建築史研究会編）の総目次である。
 - ・ 誌上に記載された記事の種類には、「本文」、「付記」、「口絵」、「資料」、「時評」、「雑評」、「小評」、「書評」、「紹介」、「雑録」がある。記事名の頭の[]は注記で、この記事の種類を示す。但し、何も記されていない場合は「本文」を示す。
 - ・ 内容が書評であるものについて、記事名から対象文献のタイトルや著者名等がわからない場合には、記事名末尾にそれを記し、注として[]で括った。
 - ・ 使用漢字を常用漢字としたほかは原則的に雑誌掲載のものを尊重した。そのほか単純誤植と考えられるものは適宜訂正した。
-

第 1 巻第 1 号（1939.1）

[口絵]年中行事絵巻の所謂平野祭図の一部

巻頭言	伊東忠太	
貞観儀式大嘗会の建築（上）	関野克	1
創建当時に於ける天龍寺の平面（上）	太田博太郎	13
平城京二条大路と東京極路	大岡実	23
笠置寺弥勒像と笠置曼荼羅	足立康	33
年中行事絵巻の所謂平野祭図について	福山敏男	42
法金剛院の庭園について（上）	森蘊	54
大和紀行（乾）	伊東忠太	64
[雑録]本会の成立と機関誌の発行		78
[雑録]本誌の編集に就いて		78
[雑録]会員芳名（其の一）		79
[雑録]本号執筆者紹介		80

第 1 巻第 2 号（1939.3）

[口絵]大伝法院多宝塔

石清水八幡宮社殿（上）	谷重雄	81
大安寺花厳院と宇治花厳院	福山敏男	93
薬師寺金堂本尊と七仏薬師光背	足立康	105
古建築の柱の内転び	大岡実	115
貞観儀式大嘗会の建築（下）	関野克	122

法金剛院の庭園について（下）	森蘊	140
大和紀行（坤）	伊東忠太	152
薬師院本堂及び書院	大岡実	167
如法院の絵馬に就いて	足立康	174
[雑録]法隆寺新非再建論について	足立康	177
[雑録]軒瓦の名称に就いて	足立康	179
[雑録]太田委員の帰還		180
[雑録]本号の編集について		180
[雑録]会員芳名（其の二）		180
[雑録]執筆者紹介		181
[雑録]石田茂作氏の「法隆寺問題批判」について	足立康	181
[雑録]前号正誤表		182

第 1 巻第 3 号（1939.5）

[口絵]法隆寺若草塔心礎		
法隆寺再建論と新非再建論	足立康	183
清水寺長谷寺石山寺の礼堂	福山敏男	207
座敷絵に就て	谷信一	220
石清水八幡宮社殿（下）	谷重雄	227
東大寺法華堂礼堂の造営年代	中上川彦一郎	239
金剛輪寺三重塔	乾兼松	243
満願寺観音堂	大岡実	246
[雑録]藤原宮趾の発掘	竹井春男	254
[雑録]法隆寺若草塔心礎と関野博士	足立康	254
[雑録]「法隆寺」の改訂		255
[雑録]「元興寺塔婆復原考」を読む [太田静六著]	足立康	257
[雑録]宮城前広場の改造		258
[雑録]明治二十八年における古社寺調査の一斑	関野克	259
[雑録]梅原・松本両氏の学位受領		261
[雑録]福山委員の学位受領		261
[雑録]新入会会員芳名		261
[雑録]執筆者紹介		262
[雑録]前号目次		262

第 1 巻第 4 号（1939.7）

[口絵]長寿寺本堂		
法隆寺若草塔の心礎	足立康	263
国分寺の創建について	家永三郎	279
彫刻史上に於ける貞観時代の下限	金森遵	295
日本建築屋蓋の反転曲線について	大岡実	309

創建当時の平安宮紫宸殿に就て	関野克	317
創立当時に於ける天龍寺の平面（下）	太田博太郎	324
喜田先生を悼む	足立康	336
喜田博士の思出	福山敏男	343
[資料]永祿在銘の風鐸	大岡実	346
[資料]山川並野形図紙背の具注歴	福山敏男	347
[資料]支那建築に於ける柱の内転び	村田治郎	348
[資料]法隆寺金堂持統天皇七年再建説の根拠	足立康	348
[雑録]喜田先生の急逝	足立康	350
[雑録]法隆寺の修理と壁画保存調査会		350
[雑録]東大寺境内の問題	足立康	350
[雑録]「現代建築」の発刊		351
[雑録]新入会員		352
[雑録]執筆者紹介		352
[雑録]本会第三十回及び三十一回研究例会		352
[雑録]前号目次		352

第1巻第5号（1939.9）

[口絵]熊野那智神社本殿		
法隆寺建築の様式に就て	足立康	353
法隆寺金堂の天蓋と須弥座	福山敏男	371
大官大寺の伽藍配置	大岡実	386
室生寺の貞観彫刻について	小林剛	397
春日造の名称に関連して	谷重雄	413
室町時代における「前栽秘抄」の影響	森蘊	422
平家納経に見える僧庵	関野克	434
都祁水分神社本殿の建築年代	黒田昇義	437
[資料]和様唐様折衷の最古の実例	大岡実	439
[資料]瓦葺宮殿の権与	足立康	440
[資料]東大寺の銅懸魚	中上川彦一郎	440
[資料]古美術雑記（飛鳥時代の連珠文）	足立康	441
[資料]古美術雑記（大安寺塔の迦葉像と笠置弥勒の脇侍）	足立康	442
[資料]古美術雑記（本元興寺塔に関する弁暁の注進状）	足立康	443
[雑録]喜田先生の鴻恩	足立康	444
[雑録]内務省神社局造営課の新設		445
[雑録]東方文化学院院長の新任		445
[雑録]古建築関係者の親睦会	関野克	446
[雑録]竹島委員の帰還		446
[雑録]本会第三十二回研究例会		446
[雑録]関野博士と多久聖廟	足立康	447

[雑録]前号目次		447
[雑録]法隆寺資財帳の一記文	足立康	448

第 1 巻第 6 号 (1939.11)

[口絵]東大寺本坊経庫全景及び細部		
奈良時代の画師に関する考察	野間清六	449
校倉について	足立康	470
貞観の彫刻に関する一二の問題	金森遵	485
高野山本尊の丈量について	足立康	490
平安時代に於ける奈良式伽藍配置	大岡実	491
最勝四天王院の障子絵	福山敏男	497
支那建築の柱の延びと内転び	竹島卓一	507
上醍醐の炎上	谷重雄	516
[付記]上醍醐の経蔵	足立康	518
源氏の貞観建築論を読む [「日本文化史大系」]	足立康	521
[付記]源氏の貞観彫刻年代論について	足立康	528
[資料]築地の於板について	関野克	532
[資料]永安三年在銘仏像の発見	福島宗緒	534
[資料]賢聖障子絵の製作年代	松崎宗雄	535
[資料]古美術雑誌 (神護寺五大虚空蔵菩薩像の造顕年代)	足立康	536
[資料]古美術雑誌 (法隆寺甲寅在銘釈迦像光背)	足立康	537
[資料]古美術雑誌 (観心寺本堂の造営年代)	足立康	537
[雑録]多久聖廟について	足立康	539
[雑録]日吉造の屋蓋	中上川彦一郎	539
[雑録]法隆寺夢殿と興福寺東金堂の修理		540
[雑録]忠霊塔設計図案公募		540
[雑録]感身学正記の複製		540
[雑録]黒板博士論文集の刊行		541
[雑録]新会員		541
[雑録]執筆者紹介		542
[雑録]本会第三十三回及び三十四回研究例会		542
[雑録]前号目次		542

第 2 巻第 1 号 (1940.1)

[口絵]神明宮本殿		
日本芸術と人格	滝精一	1
豊公聚楽第の大広間	大熊喜邦	4
二条城の創建に就いて	足立康	16
平安宮十二門の門号について	松崎宗雄	23
東寺の伽藍配置	大岡実	30

支那古代の尺度に関する一考察（上）	竹島卓一	42
東大寺大仏殿の永祿再興に就いて	中上川彦一郎	58
重源上人と陳和卿	太田博太郎	63
法隆寺研究の動機	伊東忠太	67
[時評]法隆寺若草伽藍趾の発掘	足立康	73
[資料]神明宮本殿	大岡実	77
[資料]石の間	福山敏男	77
[資料]桂離宮御庭の造営年代	森蘊	81
[資料]向造の名称について	小倉強	83
[資料]古美術雑記（一 広隆寺阿弥陀像と永原氏）	足立康	83
[資料]古美術雑記（二 重源上人の塔）	足立康	84
[資料]古美術雑記（三 東寺金堂の造営年代）	足立康	87
[雑評]軒瓦名称の問題	足立康	88
[雑評]「国分寺塔婆の一考察」を読む [太田静六著]	足立康	90
[雑評]本薬師寺の位置の問題	足立康	91
[雑評]大官大寺心礎の問題	足立康	92
[雑録]法隆寺若草塔心礎と其の附近の発掘	中上川彦一郎	94
[雑録]藤原宮趾発掘開始	竹井春男	94
[雑録]二条離宮の下賜		94
[雑録]唐招提寺礼堂及び東室の修理		95
[雑録]古美術自然科学研究会の事業		95
[雑録]奈良帝室博物館長の招宴		95
[雑録]新会員		96
[雑録]新執筆者紹介		96
[雑録]本会三十五回及び三十六回研究例会		96
[雑録]前号目次		96
 第2巻第2号（1940.3）		
[口絵]播磨八千穗村出土鴟尾		
東寺講堂とその真言仏像	足立康	97
棺に利用されたる鴟尾	梅原末治	113
醍醐寺の伽藍配置	大岡実	122
平安京の宅地割と町屋	関野克	133
東寺五大尊画像	金森遵	143
支那古代の尺度に関する一考察（下）	竹島卓一	151
上醍醐薬師三尊と会理僧都	足立康	168
善阿弥初期の作庭	森蘊	171
[資料]神護寺永平実録帳（公刊）	委員	176
[資料]慶長以前の三宝院庭園	森蘊	180
[資料]古美術雑記（一 西大寺四仏坐像）	足立康	183

[資料]古美術雜記（二 玉宮と玉瓦）	足立康	184
[資料]古美術雜記（三 鴟尾の材料）	足立康	186
[雜評]「金の上京趾白城に就いて」を読む [園田一亀著]	竹島卓一	188
[雜評]太田氏の寢殿造に対する態度 [太田静六著「寢殿造について」]		
	関野克	191
[雜評]「仏像の鑑賞」を読む [中村亮平著]	金森遵	192
[雜評]短評二則（春日神社板蔵と法花八講）	中上川彦一郎	193
[雜評]短評二則（法隆寺金堂本尊の丈量）	中上川彦一郎	194
[雜評]二条城本丸と天明の大火	足立康	195
[雜録]法隆寺若草伽藍趾の発掘経過	足立康	196
大朝掲載見取図		196
[雜録]法隆寺東院舍利殿下遺構の発見	中上川彦一郎	197
[雜録]法隆寺金堂壁画模写担当者の決定		197
[雜録]東大寺寺地の問題	足立康	197
[雜録]宝台院大方丈及び霊屋の焼失		198
[雜録]忠霊塔懸賞図案入選者		198
[雜録]田辺泰氏の学位受領		199
[雜録]関野委員の東大助教授就任		199
[雜録]新会員		199
[雜録]新執筆者紹介		199
[雜録]本会三十七回及び三十八回研究例会		199
[雜録]前号目次		199

第2巻第3号（1940.5）

[口絵]泉涌寺古図		
平城京朝堂院龍尾壇の問題	松崎宗雄	201
観心寺本尊と観心寺縁起実録帳	足立康	211
法成寺の創立に関する文献	家永三郎	223
泉涌寺伽藍について	太田博太郎	235
茅負に於ける特殊なる技法	大岡実	248
仏像光背の基本形式について	足立康	255
広隆寺資財帳の刊本	中上川彦一郎	270
絵巻物に見える帳台構	関野克	275
[時評]鹿鳴館建築の問題	足立康	279
[資料]北畠男の法隆寺二寺説	家永三郎	281
[資料]慈照寺庭園の作者に関する疑	森蘊	282
[資料]平城京と小学国史	足立康	284
[雜評]「前藤原宮」と「後藤原宮」 [喜田貞吉著「帝都」]	松崎宗雄	287
[雜評]「天竺様の源流」を読む [村田治郎著]	大岡実	288
[雜評]「室町時代の庭樹について」を読む [吉永義信著]	森蘊	288

[雑録]法隆寺再建論の発表	足立康	290
[雑録]雄水門伝説地の決定	足立康	290
[雑録]橿原神宮参道の問題	足立康	290
[雑録]帝都に関する論稿	中上川彦一郎	291
[雑録]喜田博士追悼録「景慕集」の上梓		292
[雑録]薬師寺研究に関する会合		292
[雑録]東方文化学院創立十周年記念の催		292
[雑録]正木直彦翁の訃		292
[雑録]明珍恒男氏の訃		293
[雑録]新入会員		293
[雑録]本会三十九回及び四十回例会		293
[雑録]編集及び発行日の変更		293
[雑録]前号目次		294

第2巻第4号(1940.7)

[口絵]六榕寺の塔婆		
上賀茂神社嘉元造替の本殿	谷重雄	295
広州の仏寺	岸田日出刀	317
肖像画家としての長谷川等伯	土居次義	325
唐招提寺の遺構	岸熊吉	341
大安寺の伽藍配置に就いて	足立康	357
日本建築解説(上代)	福山敏男	367
建築史研究の態度に就いて	足立康・大岡実	374
[資料]法興寺の打毬	足立康	380
[資料]東大寺雑記二則(大仏後山の全身)	中上川彦一郎	382
[資料]東大寺雑記二則(円照上人行状に見える法華堂礼堂)	中上川彦一郎	382
[資料]法成寺塔婆に関する一史料	家永三郎	383
[資料]樺太島酋長墓の図	小倉強	385
[小評]「新日本外史」と通俗書の責任 [菊地寛著]	足立康	386
[小評]寝殿造の源流	関野克	389
[小評]最近の法隆寺再建論を評す	足立康	389
[小評]山田博士の作庭記解説を読む	森蘊	390
[雑録]藤原宮址調査の近況	竹井春男	392
[雑録]奈良県国宝建造物修理の現状	黒田昇義	392
[雑録]法隆寺東院の発掘	中上川彦一郎	393
[雑録]建築模型の陳列	足立康	393
[雑録]日本美術史縮冊版の刊行		394
[雑録]「唐招提寺新研究」の上梓	中上川彦一郎	394
[雑録]建築学会論文集大会号		395
[雑録]美術復興調査会委員の決定		395

[雑録]奈良帝室博物館長の勇退		395
[雑録]新会員		395
[雑録]新執筆者紹介		395
[雑録]本会四十一回研究例会		396
[雑録]前号目次		396
[雑録]檜尾寺について	足立康	394

第2巻第5号(1940.9)

[口絵]松崎神社多宝塔		
前栽秘抄の研究	森蘊	397
大津宮の位置に就いて	足立康	416
牢度叉闘聖変相の一断片	松本栄一	428
常陸新治廃寺の調査	高井悌三郎	435
平安時代公家住宅建築三例	関野克	462
小塔に見える建築的意匠	大岡実	469
日本建築解説(飛鳥)	足立康	475
[資料]天寿国繡帳の原形	足立康	481
[資料]延暦十二年の平安宮十二門の造営	松崎宗雄	483
[資料]益之集箴の作庭	森蘊	484
[資料]古建築雑記二則(建長寺指図と東福寺)	足立康	486
[資料]古建築雑記二則(二条城本丸焼失時日)	足立康	487
[小評]「建築史研究の態度に就いて」を読む [足立康・大岡実著]	谷信一	488
[小評]「日本美術」建築編を読む [植田寿蔵著]	足立康	490
[小評]京都市編「京都の庭園」	森蘊	491
[雑録]斑鳩宮趾の発見	中上川彦一郎	494
[雑録]法隆寺壁画模写の担当者		494
[雑録]興福寺東金堂前石燈籠	足立康	495
[雑録]伽藍配置の復原に就いて	足立康	495
[雑録]「日本の建築と芸術」の上梓	中上川彦一郎	496
[雑録]千利休に関する新研究	足立康	496
[雑録]王塚装飾古墳の報告書	足立康	497
[雑録]地方文化に関する懇談会		497
[雑録]文部省史跡調査室の充実		497
[雑録]奈良帝室博物館建築史講堂の開講		498
[雑録]新会員		498
[雑録]新執筆者		498
[雑録]本会四十二回及び四十三回研究例会		498
[雑録]前号目次		498

第2巻第6号(1940.11)

[口絵]宝来山神社本殿

興福寺北円堂とその仏像の再興	足立康	499
宋代に於ける方位の決定と水盛法	竹島卓一	517
平城京宅地割の一例	松崎宗雄	528
東大寺の鐘楼について	太田博太郎	534
慶長造営の伊賀上野城天守に就いて	藤岡通夫	541
安祥寺五智如来像の造顕年代	足立康	553
興福寺再興と九条兼実の国体観	中上川彦一郎	565
釈家並びに庶民住宅に於ける納戸	関野克	567
宝来山神社本殿の建築	大岡実	569
[資料]神宮の式年造替について	福山敏男	571
[資料]栄西の「入唐縁起」について	足立康	572
[資料]二代目世阿弥	森蘊	574
[資料]延暦寺相輪の規模	足立康	576
[書評]「法隆寺論攷」 [喜田貞吉著]	中上川彦一郎	581
[書評]「日本美術史年表」 [源豊宗編]	足立康	582
[雑録]建築史学界の現況	中上川彦一郎	585
[雑録]法隆寺修理の現状		585
[雑録]外宮正殿の竣功		586
[雑録]法隆寺若草伽藍趾の保存		586
[雑録]東寺金堂旧基壇の発見		587
[雑録]檜尾寺の位置について	足立康	587
[雑録]宇瓦鐙瓦なる名称	足立康	587
[雑録]日本郷土会の結成		587
[雑録]薬師寺に関する講習会		588
[雑録]建築関係雑誌の統制と本誌		588
[雑録]新会員		588
[雑録]新執筆者		588
[雑録]本会四十四回研究例会		588

第3巻第1号(1941.1)

[口絵]本願寺本堂

高野山根本大塔とその本尊	足立康	1
大安寺僧坊の配置	大岡実	19
宋代に於ける土作制度	竹島卓一	31
迎講と裳婆屋	藤田寛雅	47
工匠より見たる藤原建築界	太田博太郎	56
鹿苑寺の金閣と庭園	森蘊	64
東大寺南大門の再興	中上川彦一郎	73

本願寺本堂	大岡実	80
[時評]年号名寺院と年号の尊厳	足立康	83
[資料]正倉院と甲雙倉	足立康	85
[資料]源氏物語絵巻に見えたる寝殿造細部	関野克	87
[資料]銀沙灘と仙草壇	森蘊	89
[書評]「支那と仏塔」 [村田治郎著]	竹島卓一	93
[書評]「日本史蹟の研究」 [上田三平著]	足立康	95
[雑録]崇福寺塔婆舍利容器発見	足立康	97
[雑録]近江神宮の竣工		97
[雑録]神祇院の設置		97
[雑録]美術振興会の廃止		98
[雑録]日本古文化研究所の光栄	中上川彦一郎	98
[雑録]正倉院御物特別展観		99
[雑録]神道美術展覧会建築の部		99
[雑録]「法隆寺」の上梓 [伊東忠太著]	中上川彦一郎	100
[雑録]国華第六百号の上梓		100
[雑録]「日本建築史」に関する補訂	足立康	100
[雑録]大岡委員の文部技師就任		100
[雑録]新入会員		102
[雑録]新執筆者紹介		102

第3巻第2号(1941.3)

[口絵]金地院庭園		
神明造と大社造との関係	足立康	103
宋代に於ける石工法と柱礎の制度	竹島卓一	120
立部と透垣	関野克	131
太山寺本堂再建年代に関する文献	望月信成	138
金地院の庭園	森蘊	145
工学博士足立康著「日本建築史」を読む	岸田日出刀	158
山田寺講堂平面の実測に就いて	大岡実	163
藤原宮御井につき斎藤茂吉博士に答ふ	足立康	169
[資料]層と簷	竹島卓一	197
[資料]大仙院庭園の作者	森蘊	182
[資料]釣台と水閣	足立康	185
[資料]興福寺東金堂発見の銀腕に関する疑	黒田昇義	187
[書評]「大津京址」 [柴田実著]	足立康	189
[雑録]賀久山陵について	足立康	193
[雑録]姫路城天守の傾斜	中上川彦一郎	193
[雑録]国史館創設事業の現状	足立康	194
[雑録]法隆寺壁画赤外写真印行		194

[雑録]滝博士の朝日文化賞受領	足立康	194
[雑録]再び「日本建築史」の訂正	足立康	195
[雑録]阪谷良之進氏の訃		195
[雑録]有坂 蔵博士の訃		196
[雑録]太田委員の転任		196
[雑録]新会員		196
[雑録]執筆者紹介		196
[雑録]本会第四十回及び四十八回研究例会		196

第3巻第3号(1941.5)

[口絵]妙楽寺本堂		
[口絵]明通寺本堂		
権現造と石間造	足立康	197
小堀遠州の造	森蘊	211
宋代の基壇に関する石材	竹島卓一	235
公家住宅の発展とその衰退	太田博太郎	246
京極土御門殿の東対に就いて	関野克	253
鎌倉大仏の丈量	足立康	262
如楽寺如通寺の建築	大岡実	273
[資料]源頼朝像北条時頼像上杉重房像について	福山敏男	279
[資料]尊勝寺の伽藍配置	足立康	282
[資料]にぎはひ草と桂離宮庭園論争	森蘊	284
[資料]金地院茶室の建築年代及作者	森蘊	286
[小評]薬師寺金銅仏の問題	足立康	291
[雑録]法隆寺壁画切取問題	足立康	293
[雑録]法隆寺壁画移転保存説の先駆	足立康	293
[雑録]二条城の白蟻禍	中上川彦一郎	294
[雑録]新国宝建造物の決定		294
[雑録]国史館計画の進歩	足立康	295
[雑録]法王帝説書写年代に関する疑	足立康	295
[雑録]「日本美術体系」の上梓 [藤懸静也監修]		295
[雑録]上宮聖徳法王帝説の復刻		296
[雑録]日本古代文化学会の設立		297
[雑録]藤懸博士の還暦記念会		297
[雑録]奈良帝室博物館及び大阪美術館の館長新任		297
[雑録]新会員		298

第3巻第4号(1941.7)

[口絵]大日堂内陣厨子		
法隆寺新非再建論の新証拠	足立康	299

奈良彫刻の基調の問題	金森遵	310
東三条殿の東対について	関野克	325
茅負曲線の一性質について	大岡実	333
宋代の石造勾欄	竹島卓一	343
室町時代に於ける西芳寺庭園の修理	森蘊	353
楼閣建築に関する一考察	太田博太郎	361
神宮寺本堂及仁王門	大岡実	365
[資料]平城京及平安京の一条一坊	福山敏男	369
[資料]東大寺の四方五仏像	足立康	371
[資料]森蘊氏「金地院の庭園」を読む	沢島英太郎	372
[資料]高陽院の造庭工事について	森蘊	378
[小評]変説と徳義	足立康	383
[紹介]「日本美術史」 [濱田耕作著]	福山敏男	386
[紹介]図録「神宮徴古館陳列品図録」	福山敏男	386
[紹介]「京都古銘聚記」 [川勝政太郎・佐々木利三著]	太田博太郎	386
[雑録]日本科学史の編纂	太田博太郎	387
[雑録]新指定国宝建造物資料の展覧	関野克	388
[雑録]春暉の建築観	足立康	389
[雑録]橘夫人厨子扉の復原	大岡実	390
[雑録]芸術院新会員の決定	太田博太郎	390
[雑録]建築学会大会の開催		391
[雑録]聖徳太子千三百二十年御遠忌		391
[雑録]「日本上代文化の研究」の上梓 [法相宗勸学院同窓会]		391
[雑録]神道美術展図録の上梓		392
[雑録]内田博士の工学部長就任		392
[雑録]中上川幹事の東大卒業		392
[雑録]新会員		392
[雑録]佐藤功一博士の逝去		392

第3巻第5号(1941.9)

新顧問大熊喜邦博士	委員	
[口絵]大福光寺本堂		
匠家の伝書と権現造	大熊喜邦	393
正倉院文書に見えたる六宗厨子の彩色	野間清六	397
広隆寺講堂の三尊像	足立康	423
子石と門砧限・地	竹島卓一	431
桂御別業に関する一考察	森蘊	441
王莽銭と漢の尺度	竹島卓一	469
談山神社権殿の建立年代	黒田昇義	473
大福光寺本堂及多宝塔	大岡実	478

[資料]堀重門の形式について	関野克	481
[資料]平安京及び宮城の指図	福山敏男	484
[資料]「慈照寺庭園は宮城豊盛の改築に非ず」を読む [龍居松之助著]	森蘊	485
[資料]備後利生塔	太田博太郎	486
[資料]遍照心院の庭園	森蘊	490
[紹介]国宝妙成寺経堂修理報告書	太田博太郎	493
[紹介]国宝中島神社本殿修理報告書	太田博太郎	494
[雑録]崇福寺趾出土舍利容器の展観	足立康	496
[雑録]関野委員の光栄	太田博太郎	497
[雑録]佐野東大名誉教授	関野克	497
[雑録]新指定国宝建造物		497
[雑録]国宝（建造物）目録の上梓 [文部省宗教局保存課]	関野克	498
[雑録]法隆寺国宝保存工事事務所長の移動		499
[雑録]新入会員		499

第3巻第6号（1941.11）

[口絵]浄土寺阿弥陀堂		
建仁寺の伽藍配置について	太田博太郎	501
勝尾寺の大鳥居	谷重雄	510
観心寺本堂と立掛塔	足立康	518
流盃渠・壇・巻 水窗の制度	竹島卓一	524
屋垂みについて	大岡実	538
倭絵発生年代小考	家永三郎	545
円覚寺舍利殿建築年代	太田博太郎	549
[資料]京都大仏殿の間尺覚書 附、京都御所延宝度御造営覚書	大熊喜邦	552
[資料]主殿造連子窓の源流に就いて	関野克	555
[紹介]支那建築装飾 第一巻	竹島卓一	559
[紹介]支那文化史蹟	竹島卓一	562
[紹介]「国宝弘前城二ノ丸辰巳櫓、同丑寅櫓、及三ノ丸追手門維持修理報告書」抄録	太田博太郎	564
[雑録]米国東北諸州の建築発達史	関野克	565
[雑録]内蒙古百靈廟北方汪古部遺蹟の調査		565
[雑録]奈良博物館長新任		565
[雑録]岡正夫氏の逝去		565
[雑録]森幹事の転任		566
[雑録]新入会員		566

第4巻第1号（1941.1）

[口絵]故足立康博士		
八坂神社本殿の形式	福山敏男	3
東福寺三門の建築について	太田博太郎	19
東海寺の庭園	森蘊	28
日本古建築に於ける裳階	大岡実	52
水槽子其他石造物の制度	竹島卓一	64
[資料]長岡京の条坊	福山敏男	76
[資料]金地院の新方丈有楽好数奇屋	森蘊	77
[資料]金閣の造営年代	森蘊	81
[紹介]「法隆寺再建非再建論争史」 [足立康著]	大岡実	83
[紹介]「工作文化」の発刊 [日本工作文化連盟]		84
[紹介]「大和路」の刊行 [近畿観光会]		84
[雑録]大熊博士の芸術院会員推挙		85
[雑録]博物館従業員講習会開催	森蘊	85
[雑録]東京市名園鑑賞会	大岡実	85
[雑録]竹井幹事の転勤		85
[雑録]足立康博士追悼号		86
[雑録]大岡委員学位受領		86

第4巻第2号(1942.3)

[口絵]書斎に於ける故足立康博士		
[口絵]故足立康博士筆跡		
足立康博士小伝		87
建築美学(遺稿)	足立康	87
栗原寺の露盤について(講演)	足立康	161
憶足立康博士	伊東忠太	183
足立君の研究生活	大岡実	185
足立君を追憶して	大熊喜邦	192
彫刻史と足立さん	金森遵	193
足立さんを憶ふ	小林剛	196
足立博士の学問	坂本太郎	198
足立博士の追憶	芝葛盛	201
足立康君の思ひ出	角南隆	202
足立博士を思ふ	関野克	205
足立博士を惜む	高嶋米峰	208
足立博士を憶ふ	滝精一	210
康さんの思ひ出	竹島卓一	211
足立博士を憶ふ	谷重雄	215
足立兄の憶ひ出	谷信一	217
足立氏の思ひ出二三	鳥羽正雄	218

足立先生を偲びて	中上川彦一郎	220
嗚呼、足立博士	中村直勝	224
足立さんの追憶	野間清六	226
足立先生を憶ふ	橋本凝胤	228
足立博士の思ひ出	福山敏男	233
足立博士の思ひ出	藤懸静也	236
碩学足立博士を悼む	藤島亥治郎	239
藤原宮址における足立先生	松崎宗雄	242
足立博士	松本栄一	245
足立博士の追懷	宮地直一	246
足立先生と日本庭園	森蘊	248
足立先生	太田博太郎	251
足立康述作目録		253

第4巻第3号(1942.10)

[口絵]和歌山本願寺別院御主殿		
日本庭園の源流とその形態について	森蘊	277
神宮の八重櫓	福山敏男	297
和歌山市鷲森本願寺別院御主殿及対面所の建築に就いて	大熊喜邦	310
日支に於ける建築曲線の成立	谷重雄	320
宋代に於ける木割の単位	竹島卓一	329
甲良神社本殿	大岡実	336
[紹介]「日本住宅小史」 [関野克著]	太田博太郎	342
[紹介]図録「船屋形」 [牛尾健治著]	太田博太郎	344
[紹介]「二条城」 [沢島英太郎著]	太田博太郎	345
[雑録]南方への関心と建築家の態度	太田博太郎	346
[雑録]新指定国宝建造物		347
[雑録]福山委員の転任		348
[雑録]建築新書の発刊		348
[雑録]発行遅延のお詫び		348

第4巻第4号(1942.11)

[口絵]金色堂正面		
[口絵]金色堂側面		
藤原時代の規矩(一)	大岡実	349
神護寺薬師如来立像に関する疑問	金森遵	356
都城時代に見られる宅地班給について	関野克	366
宋代における斗 の種類	竹島卓一	380
春日造形社殿の分布に関する一考察	黒田昇義	387
[紹介]図録「名古屋城」 [名古屋市]	太田博太郎	402

[紹介]「法隆寺図説」 [朝日新聞社編]	太田博太郎	403
[紹介]「日本建築の性格」 [田辺泰著]	太田博太郎	404
[雑録]「碩学碑」除幕式に参列して	関野克	405
[雑録]東大第二工学部の開設		406

第4巻第5号(1942.12)

[口絵]三仏寺投入堂		
香取神宮本殿	福山敏男	407
藤原時代の規矩(二)	大岡実	425
宋代におけるの制度	竹島卓一	439
宇治離宮と宇治上神社拝殿	福山敏男	463
桂御別業之記について	森蘊	468
[紹介]「上代の彫刻」 [上野直昭著]	福山敏男	485
[紹介]「大和の石造美術」 [川勝政太郎著]	福山敏男	486
[紹介]「常楽寺本堂塔婆修理報告」 [滋賀県国宝修理出張所]		
	太田博太郎	487
[雑録]新指定国宝建造物		489
[雑録]文部省教化局の新設		494
[雑録]竹島委員の転任		494

第5巻第1号(1943.1)

[口絵]浄妙寺多宝塔		
[口絵] 浄妙寺本堂仏壇格狭間		
松尾神社の神像	福山敏男	1
仙台城大広間絵図に就いて	小倉強	8
宗代に於ける飛昂の制度	竹島卓一	13
浄妙寺本堂及多宝塔	大岡実	21
日本地誌目録(奥羽地方上)		28
[紹介]「国宝金剛寺塔婆及鐘楼修理報告」 [国宝金剛寺塔婆及鐘楼修理事務所]		
	太田博太郎	44
[雑録]昭和十七年中に認定された建築関係重要美術品		47
校注七大寺日記		48
国宝建造物府県別一覧表		59

第5巻第2号(1943.3)

室町時代に於ける庭園美に関する一考察	森蘊	65
閑院第の研究	太田静六	78
下総国分寺本堂の礎石について	塚本文次	101
[雑録]新指定国宝建造物		105
[雑録]博物館従業員講習会開催		111

[雑録]東京市公園開設七十周年恩賜並寄付公園感謝の会	111
校注七大寺巡礼私記（一）	113

第5巻第3号（1943.5）

蟹満寺釈迦像臆脱	足立康	129
宋代に於ける飛昂の制度	竹島卓一	147
法隆寺東大門の旧位置と移建年代	太田博太郎	156
日本地誌目録（奥羽下）		169
[紹介]「国宝建造物法隆寺東院南門及四脚門修理工事報告」	太田博太郎	179
校注七大寺巡礼私記（二）		180

第5巻第4号（1943.7）

[口絵]法隆寺講堂正側面斜影		
[口絵]法隆寺講堂礎石裏面の繰出して円柱壓痕		
[口絵]同据付跡		
法隆寺講堂平面の変遷（上）	浅野清	193
宋代に於ける飛昂の制度	竹島卓一	207
南禅寺方丈庭園の造営年代及作者	森蘊	219
校注七大寺巡礼私記（三）		221

第5巻第5号（1943.9）

元和創始の日光山御宮造営に就いて	大熊喜邦	229
水戸城の三階櫓に就いて	藤岡通夫	233
日本庭園に於ける橋梁について	森蘊	246
宋代に於ける爵頭の制度	竹島卓一	270
校注七大寺巡礼私記（四）		275

第5巻第6号（1943.11）

春日神社若宮細殿御廊神樂所の旧規	黒田昇義	293
東大寺法華堂復原考	浅野清	299
宋代に於けるの制度	竹島卓一	321
法隆寺講堂平面の変遷（下）	浅野清	329
校注七大寺巡礼私記（五）		351

第6巻第1号（1944.1）

近世初頭に於ける鹿島神宮の造営	宮地直一	1
鳥羽殿勝光明院について（上）	角田文次	43
日光御造営御上棟之記		50

第6巻第2号（1944.3）

近世京都御所御造営略志稿	大熊喜邦	59
石山寺大日塔四天柱の柱絵考	田中重久	84
鳥羽殿勝光明院について（中）	角田文次	91
[書評]「日本住宅史」 [藤原義一著]	太田博太郎	101

第6巻第3号（1944.5）

浄瑠璃寺の建築と庭園	森蘊	
鳥羽殿勝光明院について（下）	角田文次	123
[書評]「日本の古建築」 [太田静六著]	太田博太郎	140

第6巻第4号（1944.7）

唐招提寺金堂復原考	浅野清	143
称名寺の建築と庭園	森蘊	174
[書評]「日本建築経済史」 [原沢東吾著]	太田博太郎	192

2005年2月5日
編集 伏見唯